


神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事設計図

MEMO	(縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808	図面名 表紙		工事名 神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設 計 図						
					縮尺	——	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭				No. A - 0

工 事 概 要

工事名称	神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事	
発 注 者	住 所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
	氏 名	三次市教育長 迫田 隆範
施設概要	施設名称	三次市立神杉小学校
	地名地番	三次市高杉町1684番地1
	建物用途	小学校（屋内運動場）
	工事の種別	改修工事（トイレ洋式化）
	構 造	S 造
	階 数	平家建て

工事概要

本工事は、神杉小学校の屋内運動場のトイレ洋式化改修工事です。

既設建物を使用しながらの改修工事の為、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図を作成してください。

また、工事手順、安全対策騒音対策等の内容を記載した安全計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。

尚、下請協力業者は実績のあるものとし係員の承諾を得るものとします。
別紙仕様書、設計図等により入念に施工を行ってください。
不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

工事工程等

事前に関係者（教育委員会・都市建築課・学校・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、詳細工程表及び総合仮設計画書を作成し、承諾を得た後工事に着手してください。

全体の工期は入札要綱の通りです。

工事中の移動及び復旧

工事等の支障になる物の移動及び復旧等は全て工事請負業者の負担で行ってください。

工事監理を建築設計事務所に委託しておりますので提出書類等は工事監理者を通して提出ください。

【 注意事項 】

別紙提示の内訳明細書の取扱いについて

現場説明書及び設計図を最優先とし、内訳明細書はあくまでも参考資料としてください。

入札に先立って入札参加者において数量を算出し、それに基づいて入札価格を決定し入札に臨んでください。

尚、内訳明細書の数量等に疑義がある場合は入札前の所定の期間内に協議書を提出ください。

【 指示事項 】

①工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者にて行うこと。

②工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに請負業者で解決を図ること。

③火災等発生しないよう最善の注意をすること。
万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形（可燃部分）に応じ火災保険を締結して保険証書を提出すること。
その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。
尚、敷地内は全て禁煙とする。

④振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。

⑤作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。

⑥着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。
毎日最低1回は工程表の見直しを行い、7日以上遅れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。

⑦既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。
この場合有料とするので、係員の指示に従い速やかに納付すること。

⑧図面を製本し提出すること。
・ A 4 版 2 部（表紙付、契約用）
・ A 3 版 部（現場用）
○ A 4 版 3 部

⑨不明な点については、係員と協議の上施工すること。

⑩解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。必要に応じてマニフェストを提出すること。

⑪工事着手前に大気汚染防止法第18条の15第1項，3項による調査を行う事。

提出書類一覧

提出書類様式は発注者HPからダウンロードして作成の事。
提出書類表紙(工事打合せ簿)に監理者押印欄を記入の事。

提出書類は A 4 又はA3二つ折とする事。

工事名	神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事		部数	請負業者	
	項 目			提 出 期 日	備 考
○	1	着手届（発注者書式）	3	契約後速やかに	工事監理者にも提出の事
○	2	主任技術者・監理技術者・現場代理人通知	3	14日以内	雇用関係証明書添付
○	3	同上誓約書及び経歴書（書式は自由）	3	14日以内	免許証等（写し）添付
○	4	工事カルテ（コリンズ）	3	10日以内	請負契約500万円以上
○	5	詳細基本工程表	3	14日以内	A 3 版程度
○	6	見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	3	14日以内	A 4 版
○	7	施工体制台帳及び施工体系図	3	14日以内	下請業者名簿共
○	8	退職金共済制度(建退共)	3	14日以内	
○	9	工事材料搬入・検査報告書(材料確認書)	3	事由発生後14日以内	納入実績量共
○	10	総合仮設計画書（安全計画書含む）	3	5日以内	A 3 版程度の図面添付
○	11	提出書類綴込み用空ファイル	3	5日以内	10 c m用程度
○	12	建設リサイクル法届	3	契約時	必要に応じて提出する
	13	消防設備設置計画書	3	工事着手前	
○	14	給水装置工事申込書及び完了届，完了検査	3	工事着手前	
○	15	排水設備等計画確認申請書	3	工事着手前	完了届共
○	16	社会保険等	3	各工事着手前	
○	17	再生資源利用計画書	3	工事着手前	必要に応じて提出する
○	18	大気汚染防止法説明書及び調査	3	着工迄に	大気汚染防止法第18条の15第1項，3項
○	19	工事中用保険証の写し(火災保険共)	3	着工前	工期の20日延長
○	20	施工図・製作図・承認図	3	各工事着手前	
○	21	施工計画書	3	各工事着手前	
○	22	材料承認願い等	3	各工事着手前	
○	23	主要資材購入先名簿	3	資材搬入前	省略不可
○	24	コンクリート配合表	3	工事着手前	
	25	コンクリート圧縮試験結果表	3	7日以内	4週（公共機関試験）
○	26	休業日作業届	3	工事着手前	
○	27	期間別工事工程報告書(現況写真添付のこと)	3	毎月2回	工程が確認できるように撮影
	28	工事履行報告書	3	毎月7日までに	工事状況が確認できる写真添付
○	29	工事打合簿，工事指示書，工程会議資料等	3	随 時	
○	30	質疑回答書	3	必要に応じて	
○	31	産業契約書及びマニフェスト写し	3	受領後速やかに	写真添付
	32	アスファルト調査表、試験表	3	随 時	
	33	工程指定の報告書（法 第12条3項）	3	随 時	写真添付のこと
	34	鉄筋及び鉄骨試験表	3	随 時	ミルシート等
	35	各種試験成績書(アンカー引抜，溶接探傷等)	3	随 時	
○	36	機能及び性能試験成績書	3	随 時	
	37	出来高請求書	3	随 時	写真添付
○	38	再資源化等報告書	3	完了後速やかに	必要に応じて提出する
○	39	材料出荷証明書	3	完了時	
	40	塗装関係の使用量の報告書	3	完了時	空缶等確認出来る写真共
○	41	電気絶縁抵抗試験表	3	完了時	
	42	テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	3	完了時	
○	43	接地抵抗試験表	3	完了時	
○	44	水圧試験報告書	3	完了時	
○	45	ガス気密試験報告書-各種試験報告書	3	完了時	
○	46	電気メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	47	水道メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	48	安全実施報告書（KY,パトロール,安全日誌等）	3	完了時	
○	49	下請負業者一覧表（メンテナンス用）	3	完了時	住所，電話他記載
○	50	社内検査表（チェックリスト添付）	3	完了時	
○	51	各工事保証書(防水,各機器等)	3	完了時	
	52	鍵番号表及鍵引渡書	3	完了時	
○	53	竣工図（文字入り製本・A 3 版二つ折）CD共	3	完了時	原図を訂正のこと
○	54	工事写真	3	完了時	C D データ
○	55	完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	3	完了時	C D データ
○	56	完成通知届	3	完了14日前迄に	
○	57	引渡書	3	検査通知後14日以内	
○	58	上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	3	随 時	

MEMO（縮小率：A2＝100％，A3＝70％）



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

T E L 0847-67-2472

広島県知事登録（ 24(1)第3940号 ）

F A X 0847-67-3808

図面名 工事概要・付近見取図

縮尺

——

製作日

工事名 神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設 計 図

1級建築士
第111572号

永井秀昭

No. A - 1

工事概要

1 工事名称

神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事

2 建築場所

三次市高杉町1684番地1

3 用途地域

○指定なし・第2種住居地域

4 防火地域

・防火・準防火・指定なし・法22条区域

5 建ぺい率

・%容積率・%

6 主要用途

小学校(屋内運動場)

7 工事種別

・新築・増築・改築・移転・用途変更・大規模の修繕○改修

8 構造階数

○S造1階

9 建築種別

・耐火建築物・準耐火建築物イ・準耐火建築物ロ一・準耐火建築物ロ二○その他

10 敷地面積

11,274.57㎡

11 建築面積

749.04㎡

12 延床面積

667.20㎡

13 工事種目

1.建築工事一式
2.電気設備工事一式
3.機械設備工事一式
4.上記に伴う工事一式

14 別途工事

建築工事仕様

1.共通仕様
(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁設備監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工編)」(最新版)、「以下、「標準」という。」

2.特記仕様
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、○印の付いたものを適用する。
○印と○印の付いた場合は、共に適用する。
(3)特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)特記事項に記載の(別)は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
(5)製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。
(6)図印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」の特記調達品目を示す。
(7)瑕疵担保調査・建設工事請負契約款に定める期間内

章

項目

特記事項

1一般共通事項

① 適用基準等

○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁官庁設備監修 平成22年版)
○建築設備設計基準・同解説(建設大臣官房官庁官庁設備監修 平成10年版)
○工事写真の撮り方(改訂第二版)建築編(国土交通省大臣官房官庁官庁設備監修)

② 工事実績情報の登録

適用する(1.1.4)

③ 品質計画

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次にによる。(1.2.2)
風速(Vo=30)
地表面粗度区分(・・・○・)
○積雪区分 告示第1455号 cm

④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、(1.3.3)
電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要 ○不要

5 条件明示項目

(1.3.5)

⑥ 発生材の処理等

・引渡しを要するもの()
・特別管理産業廃棄物()
・現場再利用を図るもの()
○再生資源化を図るもの
(・建設発生土 ○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材 ○鉄くず)
○上記以外 1.1.13(b)(5) ,及び監督職員との協議による。
(1)建設工事(解体撤去工事も含む)から発生する建設廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、建設副産物適正処理推進要綱に基づき適正に処理すること。
また、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物(特定建設資材(コンクリート、アスファルト・コンクリート及び木材)が廃棄物になったもの)については建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」。)及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃掃法」)を遵守し、適正に処理すること。
(2)元請け業者は、請け負った建設工事の全部若しくは主たる部分及び他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとする時は、当該他の建設業を営むものに対して、建設リサイクル法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について告知すること。
(3)建設工事の元請け業者は、「建設廃棄物処理施工計画書」、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」のとおり建設廃棄物が適正に処理されたことを確認するとともに、必要に応じて現地に依りて現地による確認、立入検査を行うこと。
(4)提出書類
元請け業者は、工事着手前に、次の書類を監督員に提出すること。
○建設廃棄物処理施工計画書
以下の書類を添付すること。
ア 廃棄物処理業者(収集、運搬、中間処理・最終処分)の許可の写し
イ 運搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したもの。
ウ 処分場の現地確認写真
エ 建設工事の元請け業者と処理業者(収集、運搬、中間処理・最終処分)との2者の業務委託契約書の写し
○再生資源利用計画書 ○再生資源利用促進計画書

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

9 特別な材料の工法

10 技能士(1.5.2)

11 化学物質の濃度測定(1.5.9)

元請け業者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び建設廃棄物処理施工計画書に依り建設廃棄物及び特定建設資材が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。
○再生資源利用実施書 ○再生資源利用促進実施書
以下の書類を添付すること。
ア マニフェスト(産業廃棄物管理票)・A・D・E票の写し及び再生資源化に係るものについては、受入伝票の写し(マニフェストは原則として厚生労働省が示す全国統一のマニフェストを使用)
イ 収集、運搬の写真、中間処理場・最終処分場(直接最終処分場の場合のみ)への処分、状況の写真
(5)本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県(環境局)及び保健所設置政令市広島市、呉市、福山市)が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。
(6)本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前記(5)に掲げ施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最廉適のなるものを見込んで、従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用(単価)は変更しない。
(7)産業廃棄物の処理に係る税について、本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理立税が課税されるので適正に処分すること。
なお、本工事では広島県産業廃棄物処理立税相当額を見込んでいます。
(8)本工事は、建設副産物情報交換システム((財)日本建設情報総合センター)の登録施工であり、請負者は施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やか当該システムにデータの人力を行うものとする。
また、再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書について、当該システムにより作成され、施工計画書に添付すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議すること。

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、I S及びJ A Sマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。
(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3)安定的な供給が可能であること
(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの確たる資料又は外部機関(「社」公共建築協会「建築材料等評価名簿」)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
使用する材料・製品はアスベストが含有しないものとする。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。
1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層積材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
2)保た材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
3)接着剤はフタル酸ジ・n・ブチル及びフタル酸ジ・2・エチルヘキシルを含有しない難燃発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他機器等は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
J I S及びJ A SのF 規格品
建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
下記表示のあるJ A S 規格品
a .非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b .接着剤等不使用
c .非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d .ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e .非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f .非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

第三種
J I S及びJ A SのF 規格品
建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
旧J I SのE o 規格品
旧J A SのF o c 規格品

⑨ 鉄筋の種類

⑩ 鉄筋の継手

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

完成図等

完成写真

設備工事との取合い

設計 G L

工事写真

17 保証書

2 仮設工事

3 土工事

4 地業工事

2 A 鋼管杭

③ 砂利地業

4 床下防湿層

5 鉄筋工事

作成する完成図(C A Dデータ等) 提出部数 各3部
・作成しない提出部数 各3部
A 2版2ツ折張り合せ製本 3部
A 3版2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部
A 3版2ツ折張り合せ製本(仕様は監督職員と打合せによる。) 3部

施工計画書 提出部数 3部
保全に関する資料 提出部数 3部

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。
分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原稿の大きさ(mm)
○カラーキャビネ版 べた焼(他に外観正面+カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出) 100×125以上
カラー半切木製パネル 324×400(mm) 外部()内部() 2 1000方面画以上300dpi以上
○電子データ 外部()内部(各室2枚) 3 1000方面画以上300dpi以上
100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、R G B (フルカラー)・J P E G形式最高画質とし、C D・Rにて提出とする。
撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

図示 ○設計G L=現状G L (既設建物に準ずる)

○「営繕工事電子納品要領」による。
・屋根工事・金属板置き・元請け業者、屋根施工業者の連名・保証期間:10年・ﾏｰﾁ保証共
規模及び仕上げの程度は現場説明書による・指示による ○設けない(2.3.1)
構内既存の施設 利用できない ○利用できる(有償・無償)(2.3.1)
構内既存の施設 利用できない ○利用できる(有償・無償)(2.3.1)

種類 ○A種 B種・C種・D種(3.2.3)(表3.2.1)
・建設汚泥から再生した処理土 固
(3.2.5)
・現場説明書による ○構外搬出適処理
・構内指示の場所となし種・構内指示の場所に敷き均し
・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。(2m範囲)(保育所側)
種類 種類 ○A種 B種・C種・D種(4.3.1~2)
高強度プレストレストコンクリート杭
・図示
試験杭 杭径(mm) 杭長(m)及び種別 継手数 セット数 備考
本杭
杭頭の処理 切断しない(4.3.7)
先端部形状 開放形・閉鎖扁平形(4.3.2)
杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい(4.3.6)
施工法 特定埋込み杭工法・プレボリング拡大根固め工法・中掘拡大根固め工法・H 13国土交第113号第6による支持力算定式で=25.0程度を採用できる工法・杭周面固定・使用する(4.3.3~5)

セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による(4.5.3)(表4.5.1)
コンクリートの種別及び設計基準強度()種かつ(2.1)N/mm²以上(4.5.3)
鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による(4.5.3)
切削工法 ・アースドリル工法(安定液使用・無水切削)(4.5.4)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張・行う・行わない)
(4.5.5)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・杭底杭工法(安定液使用・)
・深掘
側壁測定 ・行う()・行わない(4.5.4)
セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による(4.6.3)
・別図参照
再生クラッシュラン 切込み砂利及び切込み砕石・図示(4.6.6)

施工箇所

種類の種類(5.2.1)(表5.2.1)
呼び名(mm)
○S D 2 9 5 D 1 6 以下
・S D 3 4 5 D 1 9 ~ D 2 5
・S D 3 9 0 D 2 9 以上

呼び名19mm以上の柱・梁の主筋 ガス圧接・重ね継手(5.3.4)
○重ね継手又は溶接継手
最小かぶり厚さは目地底から算定する。(5.3.5)
・全ての面所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
施工箇所 標仕表5.3.6の値に加える寸法(mm)
・構造参照 10・20

種類の種類(5.2.1)(表5.2.1)
呼び名(mm)
○S D 2 9 5 D 1 6 以下
・S D 3 4 5 D 1 9 ~ D 2 5
・S D 3 9 0 D 2 9 以上

呼び名19mm以上の柱・梁の主筋 ガス圧接・重ね継手(5.3.4)
○重ね継手又は溶接継手
最小かぶり厚さは目地底から算定する。(5.3.5)
・全ての面所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
施工箇所 標仕表5.3.6の値に加える寸法(mm)
・構造参照 10・20

種類の種類(5.2.1)(表5.2.1)
呼び名(mm)
○S D 2 9 5 D 1 6 以下
・S D 3 4 5 D 1 9 ~ D 2 5
・S D 3 9 0 D 2 9 以上

呼び名19mm以上の柱・梁の主筋 ガス圧接・重ね継手(5.3.4)
○重ね継手又は溶接継手
最小かぶり厚さは目地底から算定する。(5.3.5)
・全ての面所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
施工箇所 標仕表5.3.6の値に加える寸法(mm)
・構造参照 10・20

4 既製コンクリート杭の杭頭補強

5 最上階柱頭補強

6 帯筋

7 床間口部の補強

8 梁貫通孔の補強形式(基礎共)

9 機械吊上げ用フック

10 圧接完了後の試験

⑪ その他

6 コンクリート工事構造設計標準仕様による()

② レディーミクストコンクリートの類別

③ スランブ

④ セメントの種類

⑤ 骨材の種類

⑥ 混和材料

7 無筋コンクリート

8 コンクリート躯体表面の処理

9 断熱材兼用型枠

⑩ 型枠

⑪ 水セメント比

7 鉄骨工事構造設計標準仕様による()

2 施工管理技術者

3 鋼材

4 スカラップ

5 エンドタブ

6 高力ボルト

7 溶接部の試験

・A形・B形 図示(5.3.1)(別1.1)

行う・行わない(別2.1)

H形・図示(構造図)(別2.2)

A形・B形・図示(構造図)(別4.2)(別表4.3~4)

H形・MH形・M形・評定品・図示(構造図)(別7.1)(別表7.1~3)

・A種・B種・C種(ヶ所)(別7.3)

超音波探傷試験・引張試験(5.4.9)

・構造仕様書を優先とする○図示

① 普通コンクリートの設計基準強度(6.1.4)
設計基準強度F c (N/mm²) 施工箇所
・21 建物基礎、立上り、土間
○18 雑、テラス、土間
・24 上部躯体
構造図を参照
・発注強度は上記設計基準強度+S(構造体強度補正値)とする。

類・類(6.1.5)(6.4.1~2)(表6.1.1)

工作物のスランブ 15又は18cm(建物躯体はS-01参照)(6.2.3)

(6.3.2)(6.13.2)(6.16.2)(表6.3.1)

普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種(但し、シリカセメントを除く)
・高炉セメントB種 固()

普通ポルトランドセメントの品質は、J I S R 5 2 1 0に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
水和熱 7 d 3 5 2 J / g 以下
2 8 d 4 0 2 J / g 以下

アルカリシリカ反応による区分 A
・B (コンクリート中のアルカリ総量R t = 3.0 k g / m³以下)(6.3.3)(6.5.4)

混和剤・混和材(6.3.5)(6.4.8)

設計基準強度 18 N / m m²(6.14.3)

外装タイル後張り面の躯体表面の処理
M C R工法を行う場合は、せき板面にM C R工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目視を行う場合は、水圧50 N / m m²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目視上の状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
・コンクリートの磨打り厚さ 20mm
施工範囲は図示による。
適用及び適用箇所について
標仕19章内装工事14断熱材による。
塗装の有無 ○無し・有り
普通コンクリートの水セメント比は65%以下とする。

製作工場の加工能力(7.1.3)
・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(Ⅱ)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所・図示・柱・梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
図示
適用する(7.1.4)
鋼材の材質(7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)
種類の記号 使用箇所 規格等
S S 4 0 0 J I S規格による
S S C 4 0 0 J I S規格による
S T K R 4 0 0 J I S規格による
S N R 4 0 0 B J I S規格による

改良型スカラップ
鋼製エンドタブ
切断する箇所(図示による)
トルシア形高力ボルト・J I S形高力ボルト・溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.2.2)(7.12.4)(7.6.11)(表7.6.2)
A O Q L 4.0%・2.5%
検査水準 第6水準・図示
試験の種類 試験箇所 試験方法
超音波探傷試験 完全溶込み溶接部 標仕7.6.11(b)による
・放射線試験
・マクロ試験
・別図参照


M E M O (縮小率:A2=100%,A3=70%)

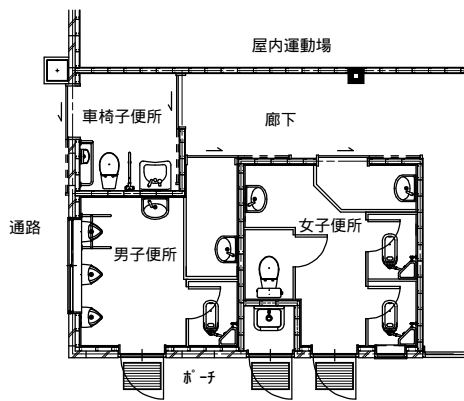
有限会社 永井一級建築士事務所
広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472
広島県知事登録(24(1)第3940号) F A X 0847-67-3808

図面名 建築工事特記仕様書(1)
縮尺 製作日

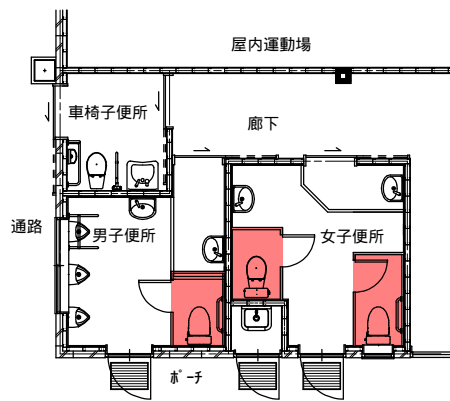
工事名 神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設 計 図
1級建築士 永井秀昭 No. A - 2

7	鉄骨工事 (構造設計標準仕様による)	8 耐火装置	<table><tr><th colspan="2">(7.9.2-6)</th></tr><tr><th>種 別</th><th>所要性能及び適用構造部位</th></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td>・柱</td></tr><tr><td>・耐火材吹付け</td><td>・柱・梁・母屋 ・図示による</td></tr><tr><td>・乾式吹付けロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・半乾式吹付けロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・湿式ロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td></td></tr></table>	(7.9.2-6)		種 別	所要性能及び適用構造部位	・ラス張りモルタル塗り	・柱	・耐火材吹付け	・柱・梁・母屋 ・図示による	・乾式吹付けロックウール		・半乾式吹付けロックウール		・湿式ロックウール		・耐火板張り		3 合成高分子系ルーフィングシート防水	<table><tr><th colspan="2">(9.4.2-3) (表9.4.1)</th></tr><tr><th>種 別</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・S-F1</td><td>1.2</td></tr><tr><td>・S-F2</td><td>2.0</td></tr><tr><td>・S-M1</td><td>1.5</td></tr><tr><td>・S-M2</td><td>1.5</td></tr><tr><td>・S-M3</td><td>1.2</td></tr></table>	(9.4.2-3) (表9.4.1)		種 別	厚さ (mm)	・S-F1	1.2	・S-F2	2.0	・S-M1	1.5	・S-M2	1.5	・S-M3	1.2	12 木工事	① 木材の品質	・標仕12.2.1 ○図示による (12.2.1)	15 左官工事	① モルタル塗り材料	<table><tr><th colspan="4">(15.2.2)</th></tr><tr><th>全面部分 (%)</th><th>吸水量 (g)</th><th>接着強度 (N/mm²)</th><th>界面破壊率 (%)</th></tr><tr><td>表示値±1.0</td><td>30分で1g以下</td><td>0.98以上</td><td>50以下</td></tr></table> <p>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>防水剤 (防水モルタル塗りの混入)</p> <p>防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 (15.2.2)</p> <table><tr><th>混合割合</th><th>養生時間</th><th>曲げ及び圧縮強度比</th><th>吸水比</th><th>透水比</th></tr><tr><td>セメント重量の5%以下</td><td>JIS R 5210の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内</td><td>70%以上</td><td>95%以下</td><td>80%以下</td></tr></table> <p>膨張性のひび割れ及びそりがないこと。</p> <p>下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による (表6.2.4) (15.3.1-2)</p> <table><tr><th>施工箇所</th><th>平たんさ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・図示による (犬走り他)</td><td>1mにつき10以下</td><td>塗料塗りの場合も含む</td></tr></table>	(15.2.2)				全面部分 (%)	吸水量 (g)	接着強度 (N/mm ²)	界面破壊率 (%)	表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下	混合割合	養生時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比	セメント重量の5%以下	JIS R 5210の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下	施工箇所	平たんさ (mm)	備 考	・図示による (犬走り他)	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
		(7.9.2-6)																																																																			
種 別	所要性能及び適用構造部位																																																																				
・ラス張りモルタル塗り	・柱																																																																				
・耐火材吹付け	・柱・梁・母屋 ・図示による																																																																				
・乾式吹付けロックウール																																																																					
・半乾式吹付けロックウール																																																																					
・湿式ロックウール																																																																					
・耐火板張り																																																																					
(9.4.2-3) (表9.4.1)																																																																					
種 別	厚さ (mm)																																																																				
・S-F1	1.2																																																																				
・S-F2	2.0																																																																				
・S-M1	1.5																																																																				
・S-M2	1.5																																																																				
・S-M3	1.2																																																																				
(15.2.2)																																																																					
全面部分 (%)	吸水量 (g)	接着強度 (N/mm ²)	界面破壊率 (%)																																																																		
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下																																																																		
混合割合	養生時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比																																																																	
セメント重量の5%以下	JIS R 5210の試験において 始発 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下																																																																	
施工箇所	平たんさ (mm)	備 考																																																																			
・図示による (犬走り他)	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む																																																																			
9	アンカーボルトの保持及び埋込み工法	・構造用アンカーボルト (図示) ・造方用アンカーボルト (・A種 B種 ・C種) (7.10.3) (表7.10.1) ・プル用アンカーボルト	4 塗膜防水	⑤ シーリング	5 防腐・防蟻処理	6 床板張り	16 建具工事	2 床コンクリートの直均し仕上げ																																																													
10	柱底均しモルタル工法	A種 ・B種 (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)	5 天然石張り	2 テラゾ張り	3 とい	3 とい	1 見本の製作等	3 網戸																																																													
11	溶融亜鉛めっき工法	<table><tr><th colspan="2">(7.12.3) (表14.2.2)</th></tr><tr><th>亜鉛めっきの種類</th><th>材 料</th></tr><tr><td>A種</td><td>最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板</td></tr><tr><td>B種</td><td>最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板</td></tr><tr><td>C種</td><td>普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td></tr></table> <p>素地ごしらえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。</p>	(7.12.3) (表14.2.2)		亜鉛めっきの種類	材 料	A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	10 石工事	3 壁の石張り工法	4 床及び階段の石張り	14 金属工事	4 金属成形板張り	8 自開式上り引戸装置	9 木製建具																																																		
	(7.12.3) (表14.2.2)																																																																				
亜鉛めっきの種類	材 料																																																																				
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板																																																																				
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板																																																																				
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																				
8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	11 タイル工事	① 陶磁器質タイル	③ 壁タイル張りの工法	5 アルミニウム製笠木	7 自動ドア開閉装置	2 改質アスファルトシート防水																																																													
9	防水工事	1 アスファルト防水	4 陶磁器質タイル型枠先付け工法	② 張り付け用材料	4 陶磁器質タイル型枠先付け工法	6 手すり及びタラップ	8 自開式上り引戸装置																																																														

MEMO	(縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 広島県知事登録 (24(1)第3940号)	T E L 0847-67-2472 F A X 0847-67-3808	図面名 建築工事特記仕様書 (2)	縮尺	製作日	工事名 神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設 計 図	1級建築士 第111572号 永井秀昭			No. A - 3

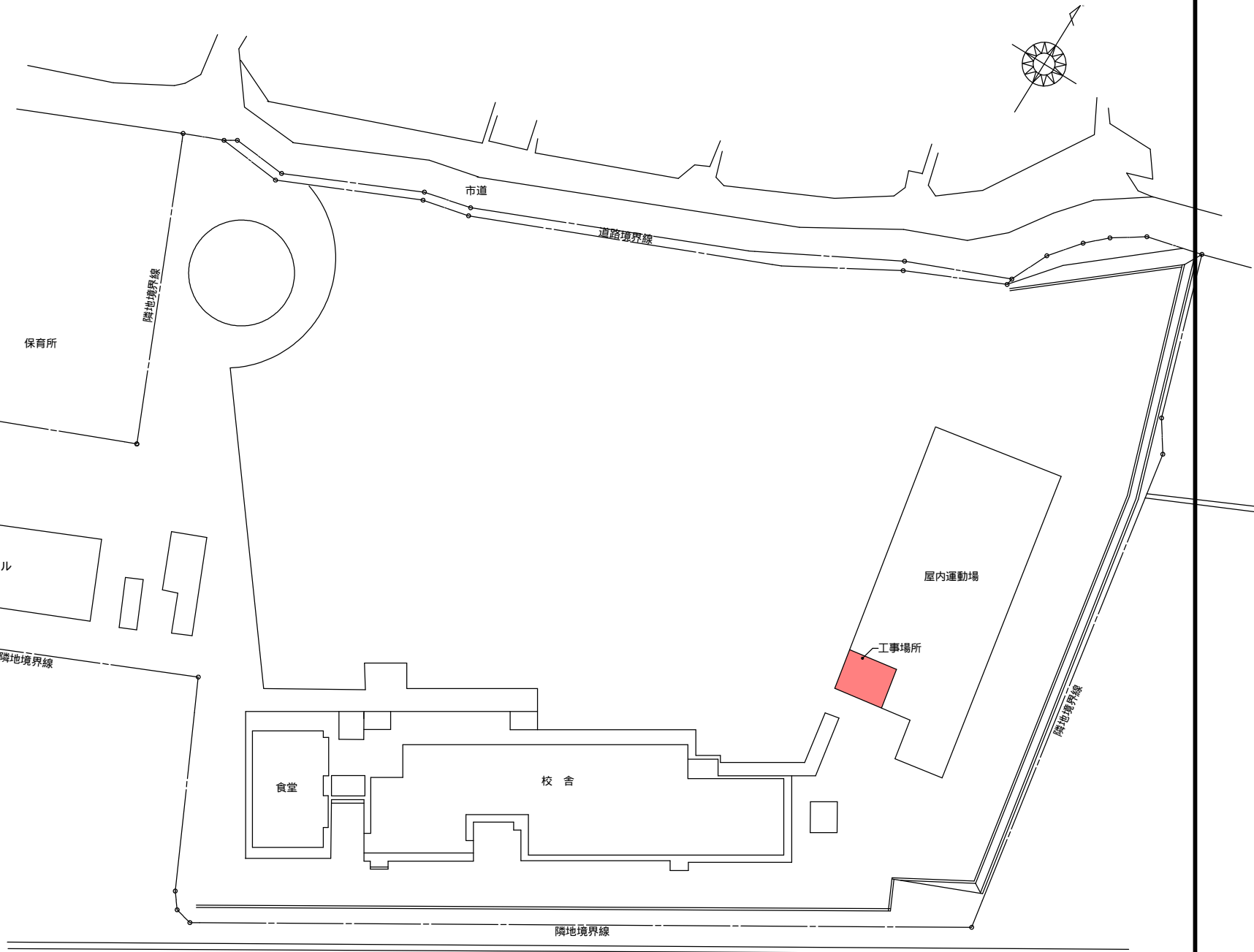


平面図（改修前）



平面図（改修後）

凡例
■工事部分を示す



配置図 S=1/500

MEMO (縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472
広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808

図面名 配置図・平面図

縮尺 S = 1/500

製作日

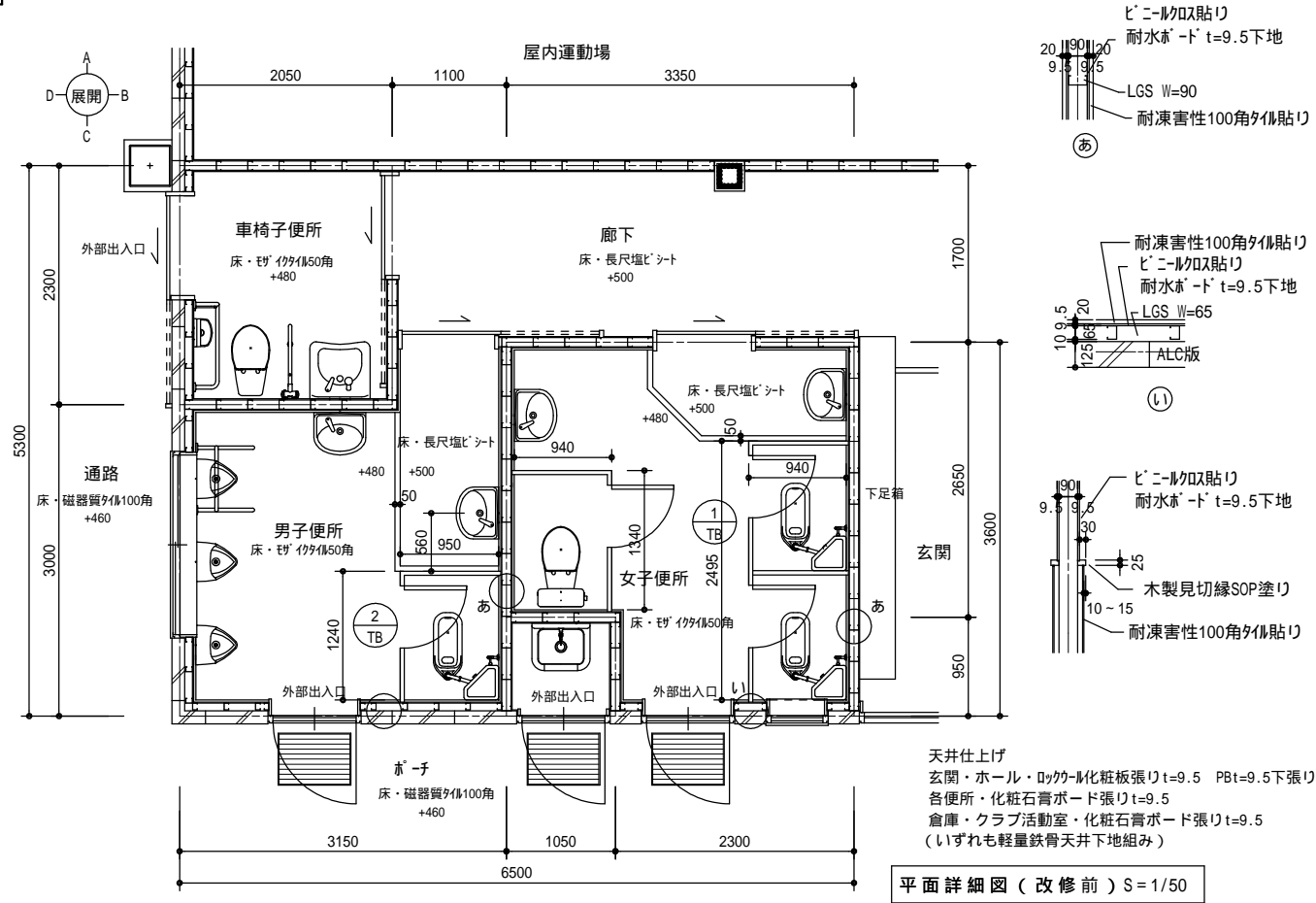
工事名 神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設計図

1級建築士
第111572号

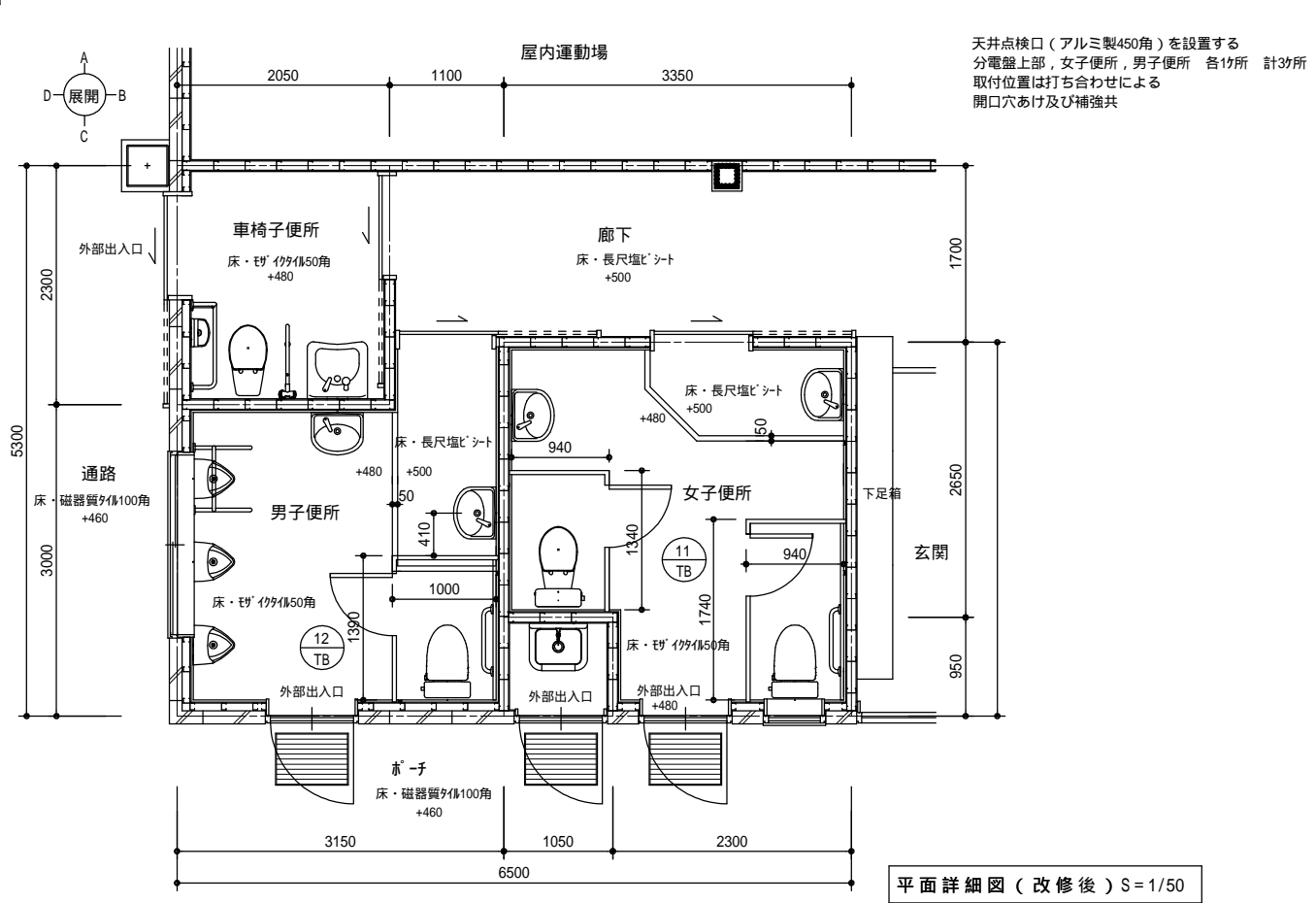
永井秀昭

No. A - 5

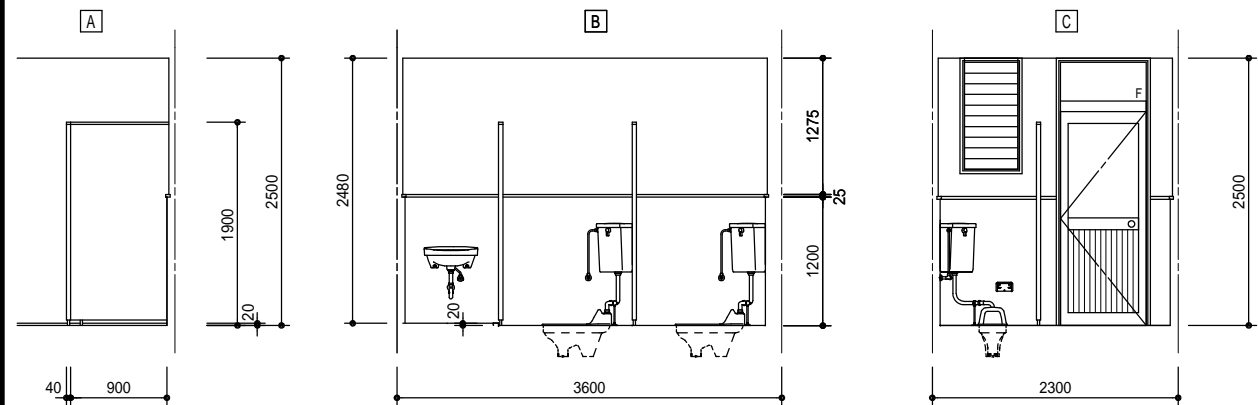
改修前



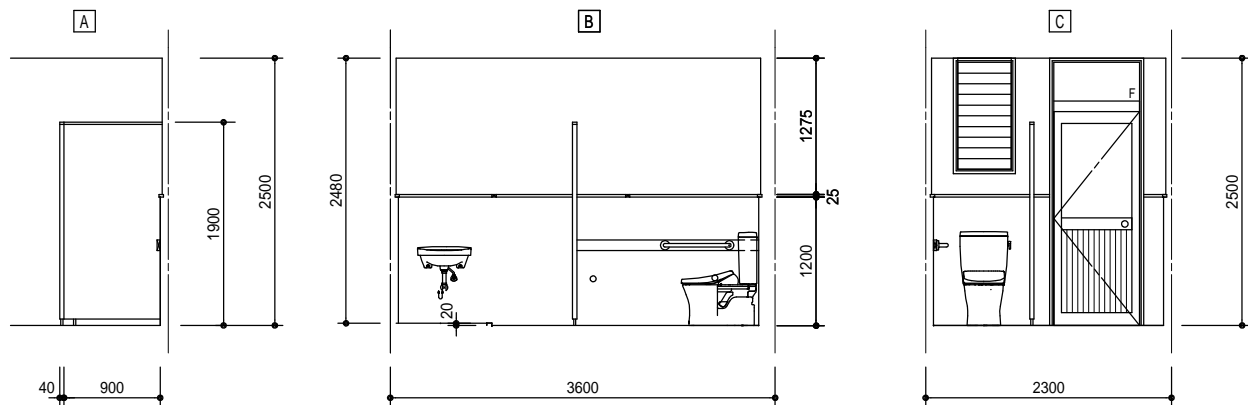
改修後



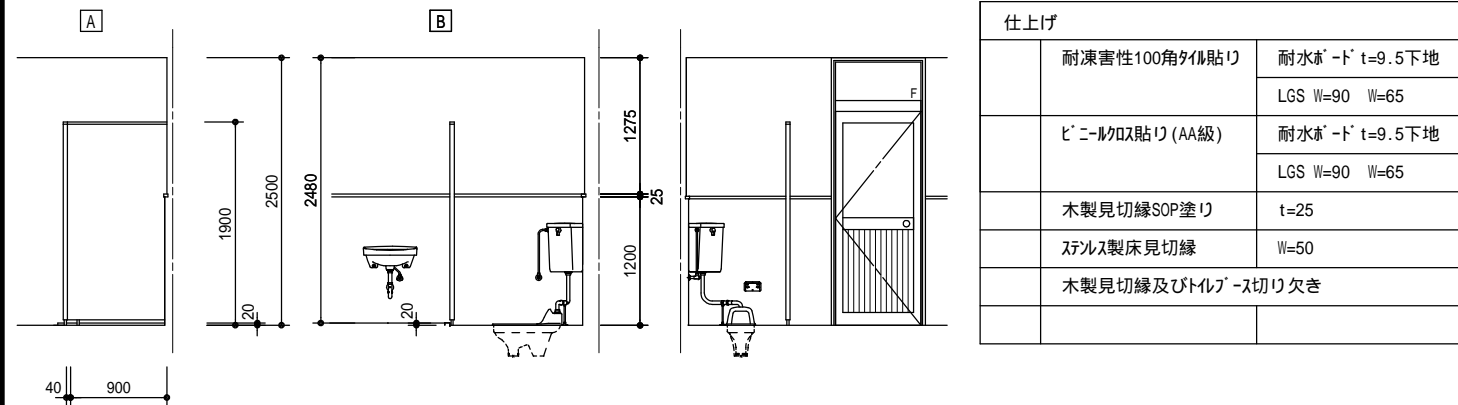
女子便所



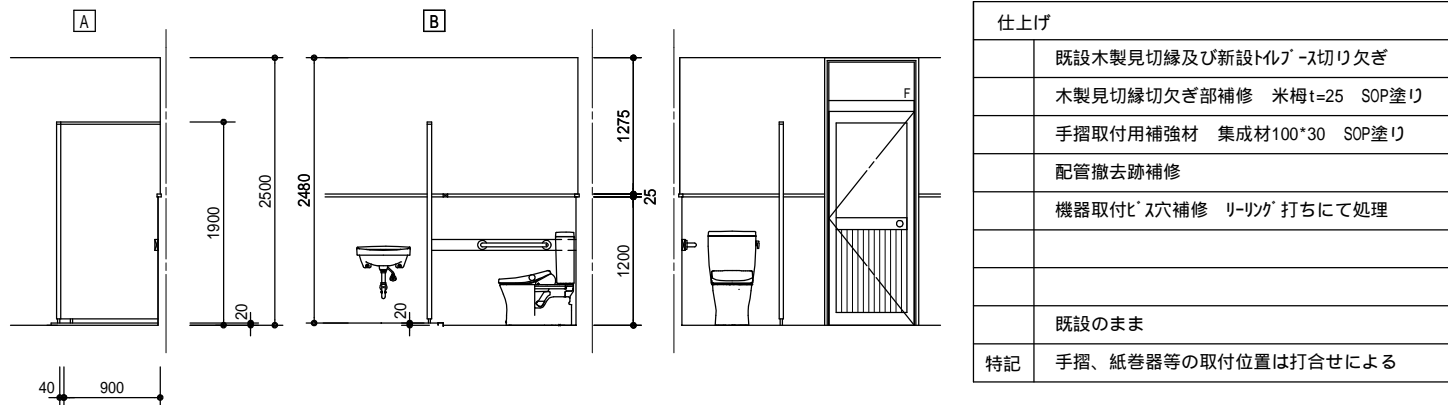
女子便所



男子便所



男子便所



MEMO (縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)



有限会社 永井一級建築士事務所
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472
広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808

図面名 平面詳細図・展開図

縮尺 S = 1/50

製作日

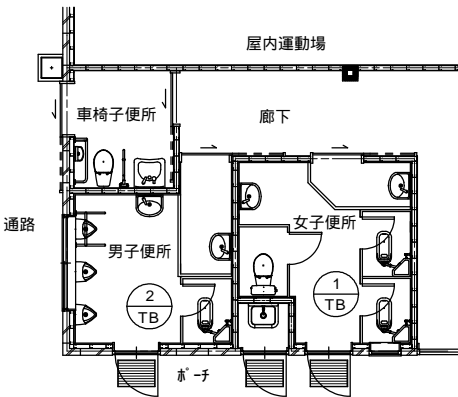
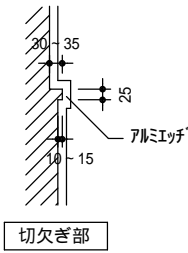
工事名 神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設計図

1級建築士 永井秀昭 No. A - 6

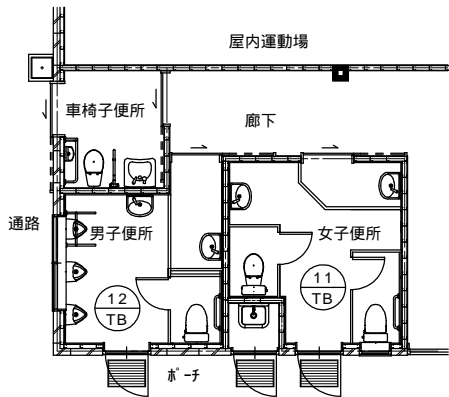
建 具 リ ス ト 1

記号	数量	<div><div>1</div><div>TB</div></div>	1ヶ所	<div><div>11</div><div>TB</div></div>	撤去工法にて改修	1ヶ所	<div><div>2</div><div>TB</div></div>	1ヶ所	<div><div>12</div><div>TB</div></div>	撤去工法にて改修	1ヶ所
姿 図											
型 式		トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース	
取 付 場 所		1階 女子便所		1階 女子便所		1階 男子便所		1階 男子便所		1階 男子便所	
枠見込 仕上		珪藻土化粧板 t=40		高圧珪藻土化粧板 t=40		珪藻土化粧板 t=40		高圧珪藻土化粧板 t=40		高圧珪藻土化粧板 t=40	
硝 子 他				LVL/パネリング・ド/パネリング				LVL/パネリング・ド/パネリング			
建 具 金 物		ラッチ・戸当たり(帽子掛け)・笠木SUS304・サッシ・ヒンジ・インサレーション 他		ラッチ付表示錠・足元壁金物・頭上サッシ・取手・ヒンジ・アルミインサレーション(スリット)・帽子掛け 他		ラッチ・戸当たり(帽子掛け)・笠木SUS304・サッシ・ヒンジ・インサレーション 他		ラッチ付表示錠・足元壁金物・頭上サッシ・取手・ヒンジ・アルミインサレーション(スリット)・帽子掛け 他			
備 考		メーカー標準金物一式		メーカー標準金物一式		メーカー標準金物一式		メーカー標準金物一式		メーカー標準金物一式	

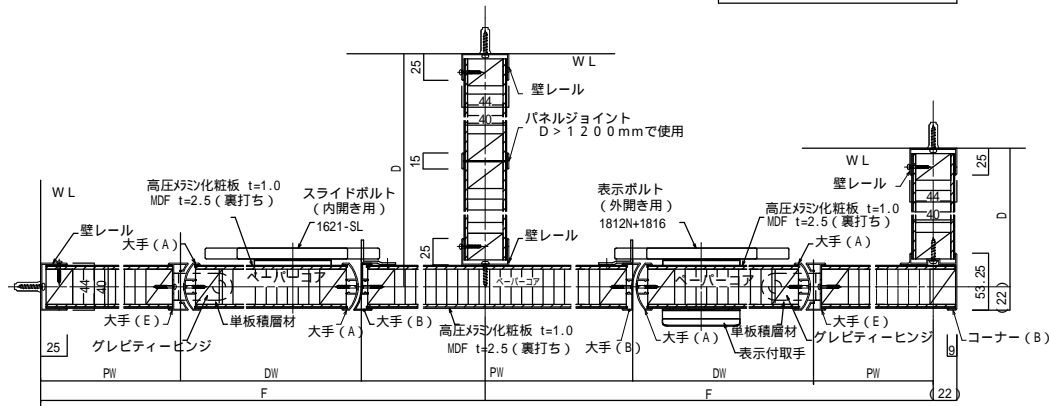
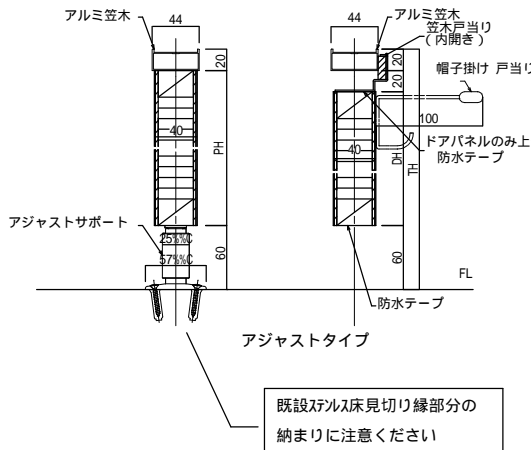
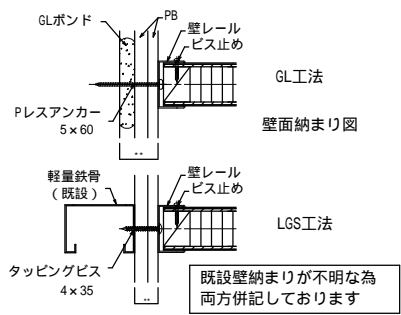
【特記事項】
1.建具の記入寸法は内法寸法を示す。
2.記入なき以外金物はステンレスSUS304HLとする。
3.事前に施工図を作成し、監理者の承諾を得たのち製作する事。
4.トイレブースは三和シャッター 他 TA40同等品とする



建具配置図 (改修前) S=1/100



建具配置図 (改修後) S=1/100



トイレブース標準詳細図
事前に施工図を作成し、監理者の承諾を得たのち製作する事。
必ず現地を実測して寸法、納まり等を確認して下さい

MEMO	(縮小率: A2=100%, A3=70%)		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808	図面名	建具リスト 建具配置図	工事名	神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設 計 図
				縮尺	S=1/50 製作日	1級建築士 永井秀昭	No. A - 7

特記仕様書

◎ は、本工事該当を示す。

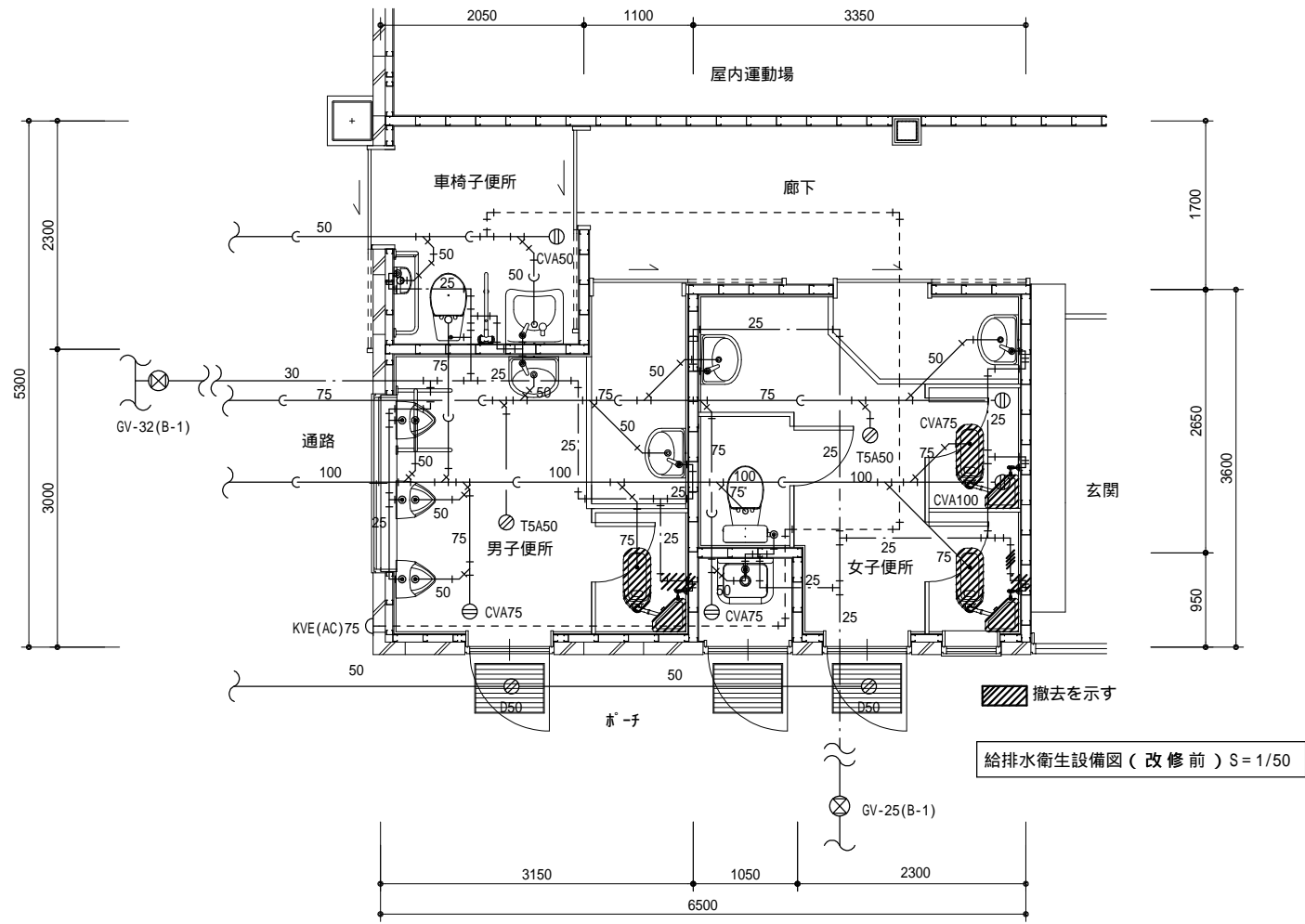
[illegible]

【特記事項】

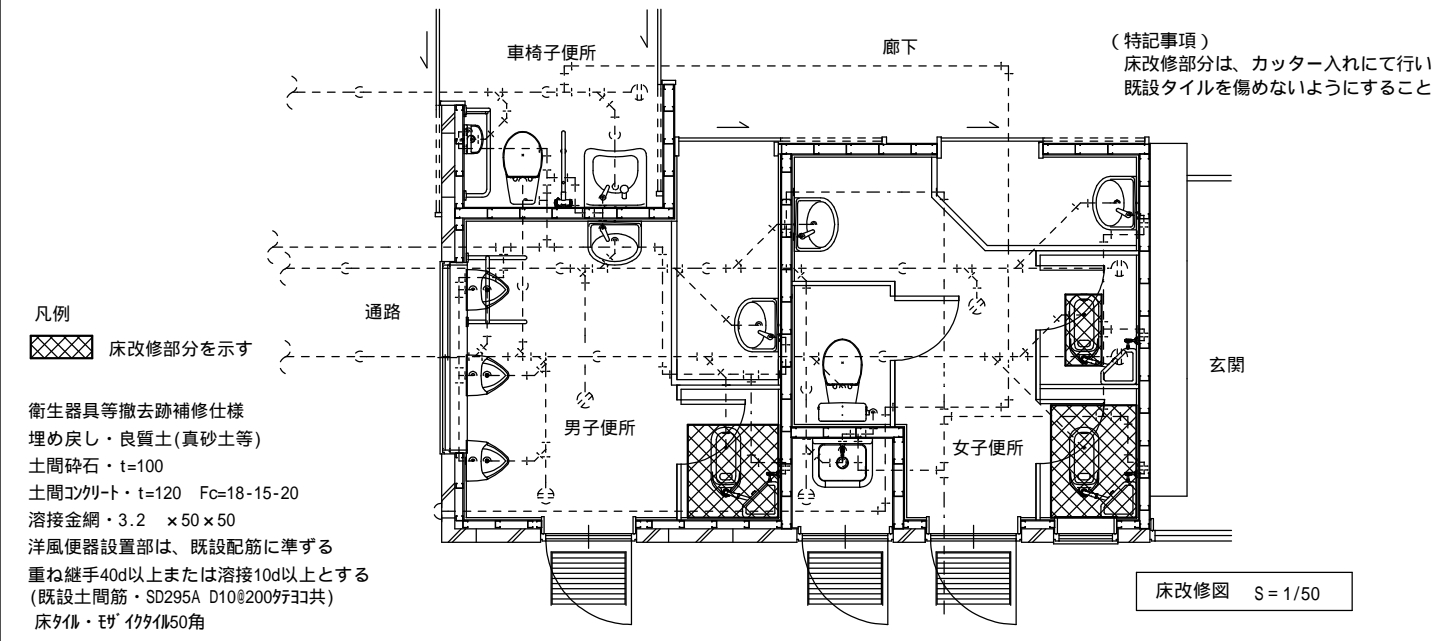
必要に応じて、工事着手前に下水道課へ届出を行ってください。また、工事完了時には検査を受けてください。

MEMO	(縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)		有限会社 永井 一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録(24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808	図面名 機械設備特記仕様書		工事名 神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設 計 図					
	縮尺			—	製作日	1級建築士 第111572号	永井 秀 昭				No. A - 8

改修前



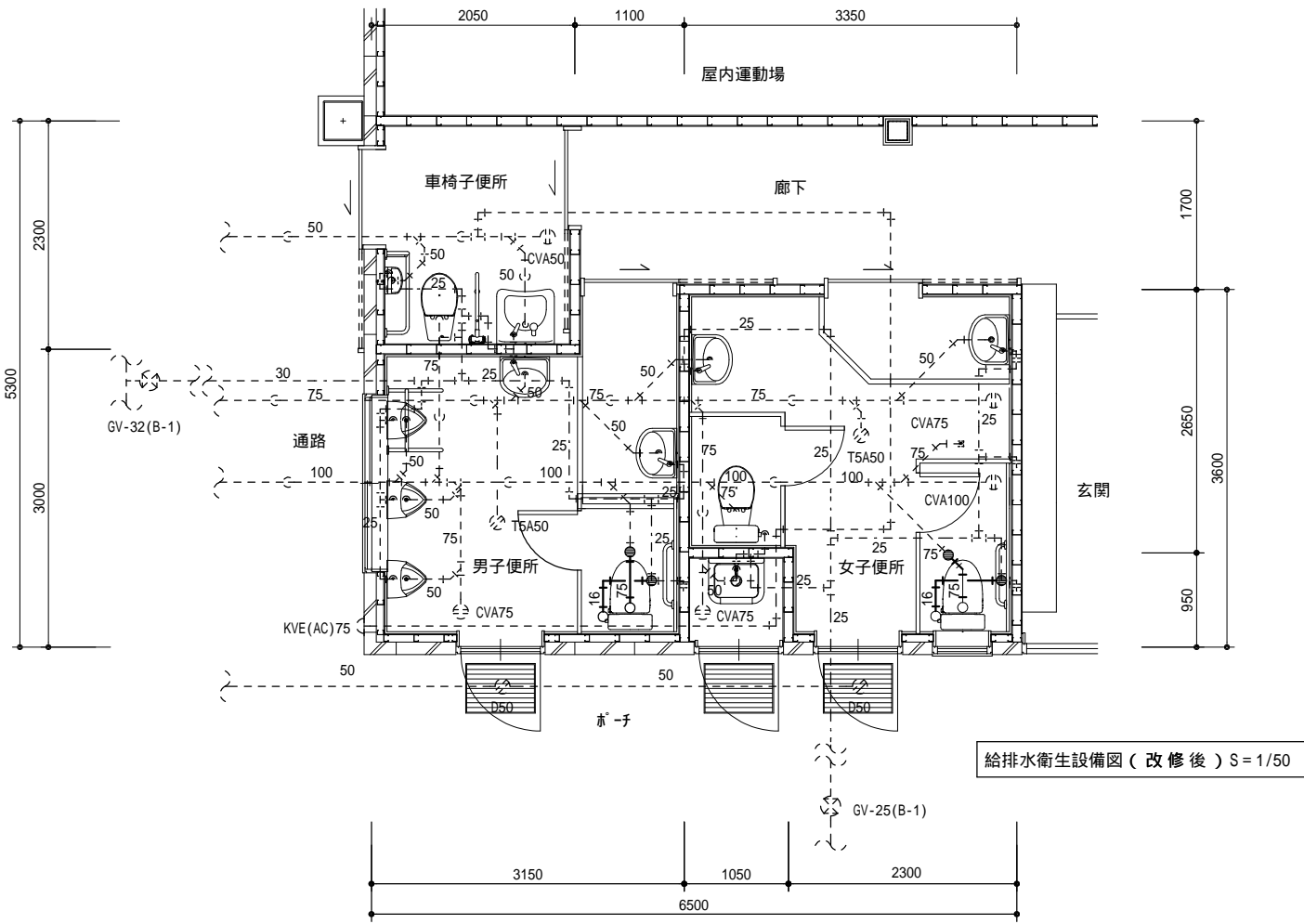
衛生器具機器表						
器具名	仕様(参考型番)	電気仕様		数量		備考
		電圧	消費電力	男子便所	女子便所	
和風大便器	C750V S570B TS570ZS32 TS116R(壁給水)	単相100V		1	2	撤去
紙巻き器				1	2	撤去



MEMO (縮小率: A2=100%, A3=70%)

有限会社 永井一級建築士事務所
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472
広島県知事登録(24(1)第3940号) FAX0847-67-3808

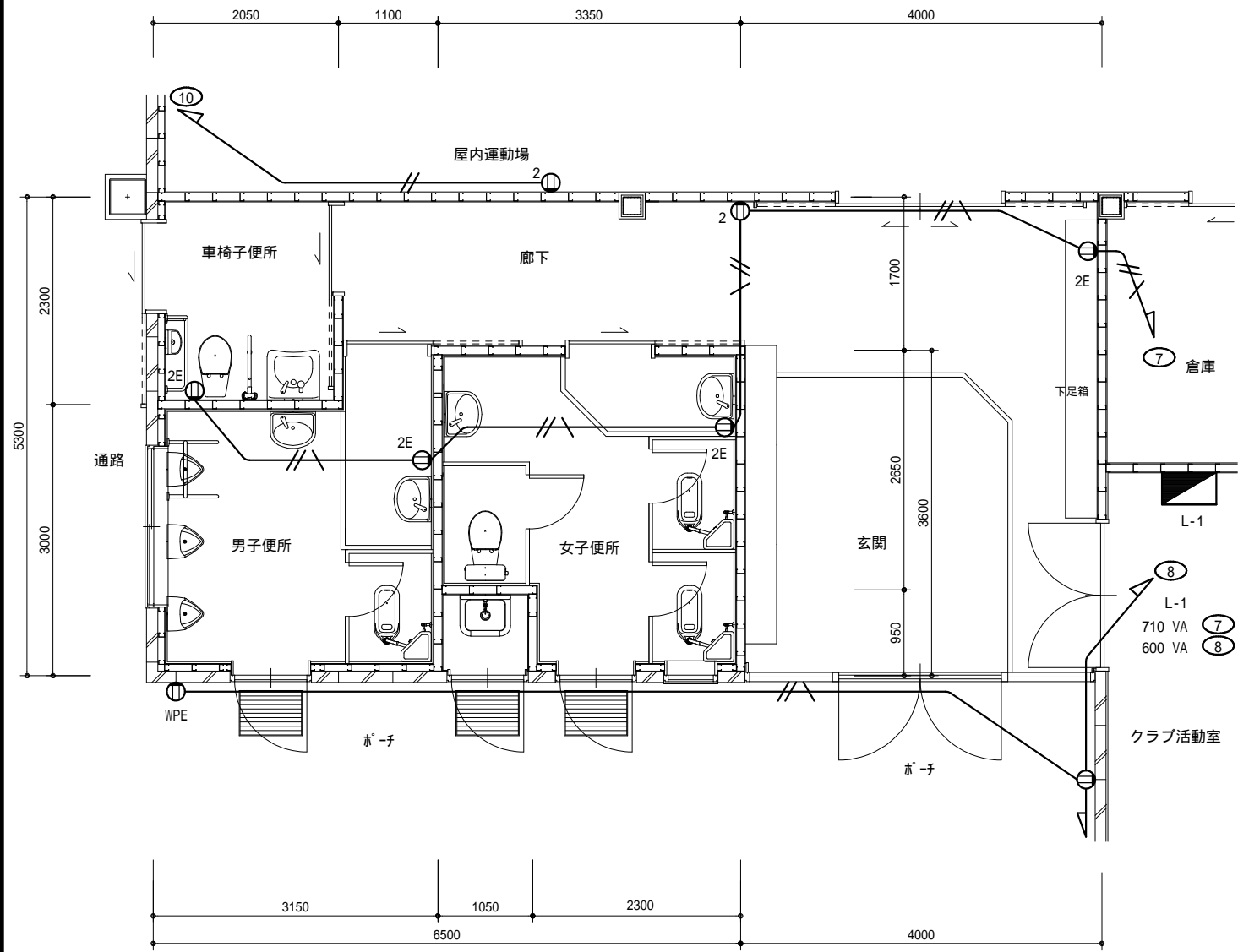
改修後



衛生器具機器表						
器具名	仕様(参考型番)	電気仕様		数量		備考
		電圧	消費電力	男子便所	女子便所	
洋風大便器	CS597BS SH596BAR TCF116(床給水)	単相100V	52W	1	1	
紙巻き器	YH117			1	1	
I型手摺	T113B6			1	1	

- [特記事項]
- 和風便器のロータンクへの給水管は壁面または床面にて化粧プラグ止めとす。
 - 和風便器の不要となる排水管は床下でキャップ止めとする。

図面名 給排水衛生設備図
縮尺 S=1/50 製作日
工事名 神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事 設計図
1級建築士 永井秀昭
第111572号 No. A - 9

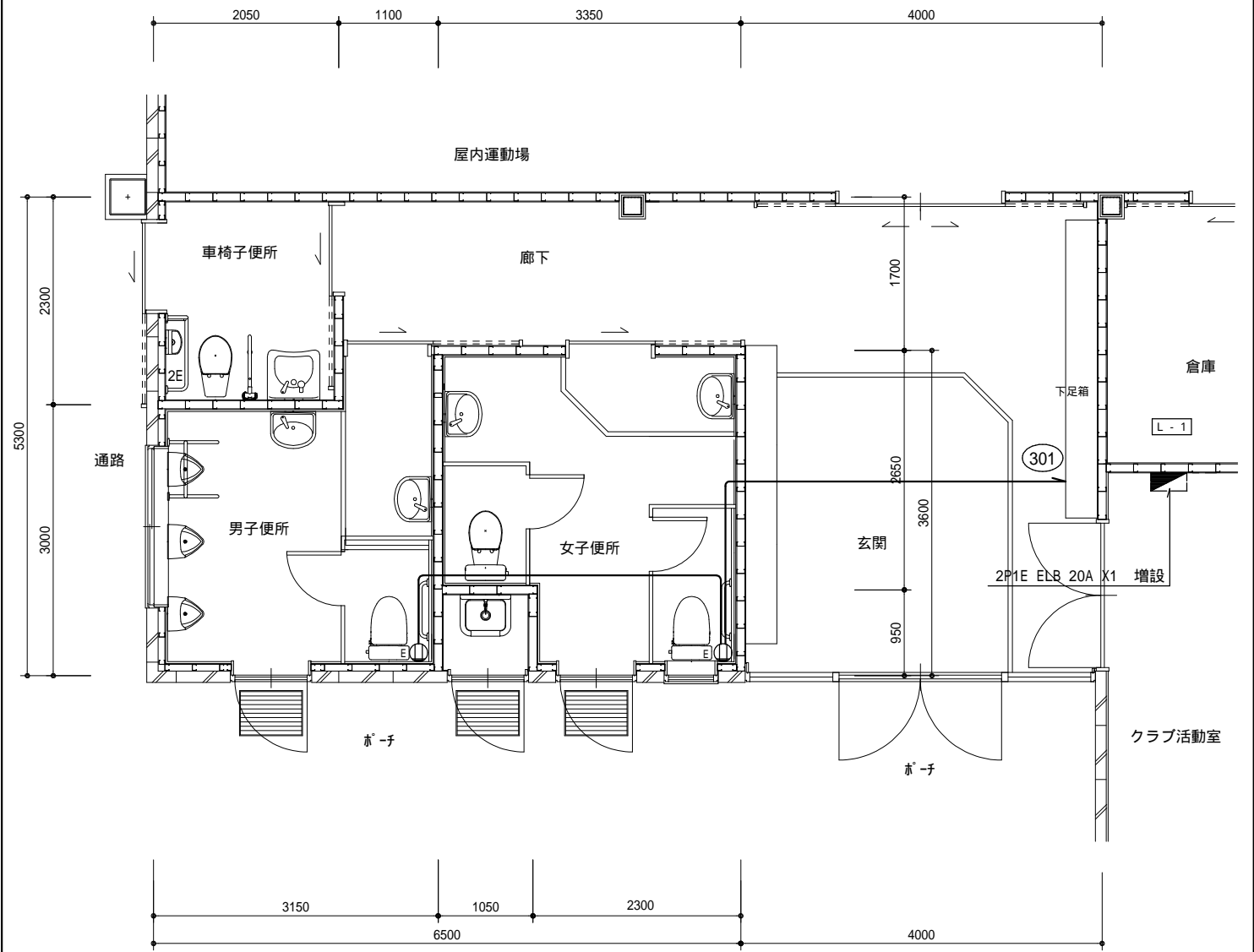


平面図 (改修前) S=1/50

L-1
予備ブレーカー 20A
AC110/220V 2箇所
AC110V 無し
ブレーカー増設スペース 2箇所

図中特記無き配管配線は下記の通りとする。

- IV 1.6 × 2 (16)
- IV 2.0 × 2 (16)
- IV 2.0 × 2E 2.0 (16)



平面図 (改修後) S=1/50

図中特記無き配管配線は下記の通りとする。

- EM-EEF2.0-3C

天井内はケーブル転がし配線とし、立下げはメタルモールにて保護のこと。

コンセント取付位置は打合わせによる

